

月刊 かわごえ環境ネット

2017年10月号 No.132

<http://kawagoekankyo.net>

2017年10月10日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

川越まつり会場クリーン活動 (10/14・15)



**川越まつり
会場クリーン活動**

参加者募集

活動内容：川越まつり会場周辺地域の清掃活動。参加費無料。お弁当・飲み物も用意されています。

活動にご参加の方

申込先 かわごえ環境ネット
渡辺 彦・Fax 049-242-4322
菊地 携帯 080-5546-2362
mail kikum.autumn@gmail.com

当日飛び込み参加歓迎！ テントにて受付
テントの住所：川越市中原町1-2-11 東側地先
活動時間割 (希望時間をお知らせ下さい)

日 時	11時～13時	13時～15時	15時～17時	17時～19時	19時～21時
10月14日(土)					
10月15日(日)					

主催 かわごえ環境ネット **事務局** 川越市環境部環境政策課

いよいよ川越まつりです。10月14・15日(土・日)11:00-21:00の2時間単位で会場クリーン活動。ボランティア100名募集！(詳細13面)

映画「日本と再生」上演と講演会 (11/25)

環境講演会 映画と講演会の集い

エネルギー革命はもう始まっています。欧州各国では自然エネルギーの割合が20%を超え、デンマークでは「自然エネルギー100%」の国家を目指すと言っています。世界規模で自然エネルギーの普及が急速な勢いで広がっています。自然エネルギー100%をめざす取組について考えましょう。

日時 2017年11月25日(土) 13時30分～
会場 南公民館(ウエスタ川越1階) 講座室1号

第一部 映画上映と講演会 参加費500円

映画「日本と再生」 13:30～14:45

講演会 15:00～16:45 (講演75分質疑応答30分)

演題「自然エネルギー100%の社会を目指して」

講師 NPO法人環境エネルギー政策研究所
研究員 古屋 将太氏

講演内容

- ・世界の自然エネルギー普及状況
- ・エネルギーの地産地消・自給自足の可能性について
- ・日本の「市民電力」・「地域(自治体)電力」の実態、将来方向
- ・川越市への「エネルギー地産地消」に向けた提言

第二部 映画上映 (第一部の映画上映や講演会に参加出来ない方に)

映画「日本と再生」 17:00～18:15 参加費500円



主催 かわごえ環境ネット
参加申込先 川越市環境部環境政策課 電話 049-224-5866
メール kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
申込開始日 10月10日(火) 9時より

川越及び周辺地域で自然エネルギーの取組をどう進めるか考えましょう。参加者100名募集。周囲に参加呼びかけを！(詳細13-14面)

目次

コラム	私のエコ体験 (16) 命を守るということは.....	2
	川越の自然を訪ねて (57)「かわごえ生き物調査」.....	3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動 (3題).....	4-7
	会員・流域の活動 (5題).....	7-11
	理事会・専門委員会 (3題).....	11-12
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事 (6題).....	13-16
	会員・関係団体の主催・関連行事 (8題).....	16-18
	広報委員会からのお知らせ.....	18-19
	イベントカレンダー (10月11日～12月2日).....	20

【コラム】私のエコ体験 (16) 命を守るということは



公民館での活動 (1)



公民館での活動 (2)



外窓の緑のカーテン

「我が子の命を守る」ということは、「我が子」だけではなく「みんなの命」「すべての命」を守ること。環境問題も根本から考えていくと人権問題でもあり、一人ひとりがどう生きていくかということに行きつくのではないのでしょうか。

抱えていた大きな問題が解決でき、それまで以上に環境問題にも取り組む必要があると気づかせてくれた講演会があります。エアコンが欲しい！と思った時に、その講演会を思い出しました。海面上昇に沈みゆく国々、干ばつで食料がなく餓死してゆく子どもたちのこと。エアコンを買う前に、何かできることはないだろうか考えました。すだれ、よしずが始まって、毎年いろいろなアイデアが湧きます。我が家は、南斜面の高台の、ごく普通の2階建て。陽を遮る物はなく、暑いです。やはり、エアコンがほしい！と思った時、この講演会と、東日本大震災の被災地の避難所を思い出しました。真夏に災害が起きたら…。起きないようにエネルギーダウンです。とにかく、もう手はないか考えました。湧いてきました。

外窓には緑のカーテン、すだれ、シェード、植木を配置。戸袋にも緑のカーテン、植木を配置。内窓には、3重のカーテン、竹すだれで断熱。ガラス窓の開閉は、日陰の方を開け、日向は閉めておくか細く開け、3重のカーテンで陽を入れない。暑い窓からは離れて座る。外気温と5度差を目指している。

冷蔵庫内に張ったビニール「のれん」は、冷気が逃げるのを防ぐ。上段に保(畜)冷剤や氷を入れて庫内を冷やす。食品の保存はガラス瓶。見つけやすく、庫内が冷える。ステンレス容器

にラベルを貼るのもよい。

生ごみは、廃棄の発泡スチロールの箱に土と入れよく混ぜ返し家庭菜園の堆肥に。雨水は、雨どいに分岐栓を取り付け、たまった雨水を菜園の水やりや洗車などに使う。外の水道は、ここ数年で5回使ったか(雨水をためる容器は、ふたをするか光を遮断)。

電気・水道・ガスなどの使用量と料金をわかりやすく記録する「環境家計簿」は記入し続け17年。約10年で電気と水道は半額に、ガスは3割減になった。いろいろのアイデアで、まだ減り続けている。家族人数の変化もあり、削減の割合は出せないが、全国の2人世帯の平均よりもはるかに少ない。

これらのアイデアは、毎月、高階南公民館で分かち合っている。公民館だよりを見て、出かけて来てください。冬にも生かします。

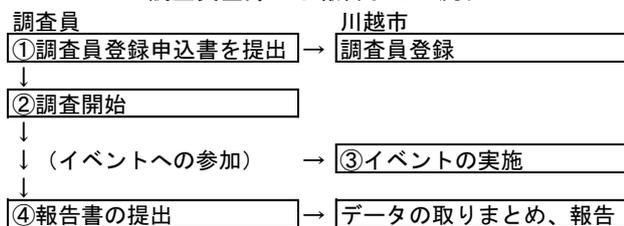
あとは、いろいろな方の体験を聴き、化学物質などのことが気になった。8月1日は「水の日」。暑い8月は水の使用も増えやすいので、水の実験をした。雪解け水、雨水の純度の高いのに驚かされていた。水道水を沸かすと、変化するのにも驚いていた。とにかく、私たちが汚さないこと(石けんの材料も…)、水を大切にすること。災害時、何に困ったかという、多くの方が「水」と答えられている。私たちの体の多くも「水」。水を汚すということは…です。知っていました？ 5分息をしないと、5日水を飲めないと、25日食べられないと…。あつて当たり前の空気・水・土を汚さないように生きていきましょう。

(ネットワーク『地球村』川越 松岡壽賀子)

【コラム】川越の自然を訪ねて (57) 「かわごえ生き物調査」



「かわごえ生き物調査 調査の手引き」表紙
調査員登録から報告までの流れ



この記事を目にしている読者の方は、生き物はお好きでしょうか。虫は嫌いだけれどバードウォッチングは好き、山野草なら趣味でやっている、ペットは可愛い、など様々でしょう。

世界中には数え切れないほどの生物種がいて、それが日々絶滅しているのも事実です(1975年以前は1年に1種以下、現在は年に4万種以上絶滅)。日本には現在9万種の生物が生息していますが、5000種近くが絶滅危惧種(準絶滅危惧種含む)になっています。埼玉県では1800種ほどが絶滅危惧種に指定されていますが、海がないのでその分少なくなっています。

では、川越市ではどうでしょうか?実はこれがわからないのです。絶滅危惧種のキンランがあるというのはわかりますが、他には何がどれほどあるのか、どこにあるのかということが調査されていません。かわごえ環境ネット自然環境部会が調査や観察会で確認したものは市に報告していますが、全体像にはほど遠い状況です。希少種だけでなく普通に生息している種もよくわかっていません。ホタルはいつごろまで川越

に自生していたのか、ムサシトミヨが川越に生息していたらしいがどうなったのか・・・過去のことも記録がありません。

平成28年に「川越市環境基本計画」が改定され、今後10年間の方針が出されました。環境指標の一つに「生物多様性の保全 自然を大切にし、ともに生き、次の世代に引き継ぎます」という文言があります。この具体的取組の中に野生生物の分布、生態等に関する調査・研究があげられています。このタイミングで川越市が今年度から「かわごえ生き物調査」をはじめることになりました。自然環境部会では以前から生物調査や希少種の保全を提言してきましたので、協力して進めることになりました。川越市は依然として開発圧が強く、自然的要素は目に見えて減っています。特に樹林の中核である雑木林はどんどん・・・と表現されるほど減っています。生き物が丸ごとなくなるわけです。

広く市民の皆様には生き物についての関心を持っていただき、自宅周辺の身近なところから調査する、このようなコンセプトで市の「かわごえ生き物調査」がスタートしました。そうして川越の生き物情報を収集し、分布や種類を知ることができます。調査自体はそんなに難しいことではありません。まずは、指標種が67ありますので、この中からチェックしていくとわかりやすいです。もちろんすべての生き物が対象ですので、わかる範囲で広げることができます。環境政策課みどりの担当が市民調査員を募集していますのでぜひ、エントリーしてください。川越市のホームページにも詳しくUPされています。「生き物調査」を検索してご覧ください(下のQRコードでもアクセス可能)。



問い合わせ：環境政策課 049-224-5866

(賀登環)

指標種 67種

	植物	野鳥	昆虫・クモ	爬虫類
1	アゼムシロ	ガビチョウ	モンシロチョウ	カナヘビ
2	アレチウリ	カルガモ	ツマグロヒヨウモン	ミシシippアカミミガメ
3	オオフサモ	カワセミ	ジャコウアゲハ	ニホンヤモリ
4	オオブタクサ	キジバト	アカボシゴマダラ	アオダイショウ
5	オギ	コゲラ	ヤマトシジミ	4
6	カタバミ	コサギ	ナミアゲハ	
7	カントウタンポポ	シジュウカラ	クロアゲハ	両生類
8	クチナグサ	スズメ	シオカラトンボ	トウキョウダルマガエル
9	ジシバリ	ツグミ	ギンヤンマ	ニホンアカガエル
10	シュンラン	ツバメ	アキアカネ	2
11	ススキ	ヒバリ	カブトムシ	
12	セイバンモロコシ	ヒヨドリ	ナナホシテントウ	哺乳類
13	セイヨウタンポポ	モズ	ショウリョウバッタ	ホンドキツネ
14	セリ		オオカマキリ	ホンドタヌキ
15	タチツボスミレ		イナゴ	アブラコウモリ
16	チガヤ		ヒグラシ	3
17	ネジバナ		ミンミンゼミ	
18	ハルジオン		ニホンミツバチ	その他
19	ヘクソカズラ			マルタニシ
20	ホトケノザ		ジョロウグモ	ドジョウ
21	ミズヒキ			2
22	アカマツ (樹木)			
23	イチヨウ (樹木)			
24	コナラ (樹木)			
	24	13	19	

【報告】かわごえ環境ネットの活動

自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園 「自然の道ビンゴ」実施



木肌とほっぺの触り比べ



配布した自然の道ビンゴ用紙



双眼鏡で野鳥観察

9月9日(土)川越青年会議所主催の「自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園 ～自然を彩る、水と光と音と食～」に、かわごえ環境ネット企画「自然を学ぶ環境セミナー」と題する自然の道ビンゴゲームを実施しました。

子どもとその親子およそ20名に参加いただきました。「自然の道ビンゴ」の企画内容は、始めに、公園をみんなで一周しながら、自然観察をし、その後、クイズの用紙を配り、またその解答探しのために公園を一周して歩きます。公園内にある見晴台では、双眼鏡で子どもたちに野鳥観察にもチャレンジしてもらいました。虫探しはできませんでしたが、植物を中心として自然観察や遊びをしながらの1時間。クイズは、

埼玉県の木の名前は？川越市の木の名前は？メタセコイアの実の絵を描いてみよう、野鳥は何羽いたかな？拾ったどんぐりの色は何色？穴の空いたどんぐりを探してみよう。トウカエデの葉の絵を描こうなど全部で9問。子どもたち全員が全問正解し、最後には、参加賞やお菓子を子どもたちに配り解散しました。青年会議所スタッフが拡声器をもっていっしょに歩いたおかげで、子どもたちと会話する大きな声をきいて、途中から3組の親子が参加してくださったり、子どもたちは時間が経つに連れて自分たちから「バッタつかめた～」「クローバーの花ってこれ？」と言ってきたり、子どももいっしょに楽しむ1時間でした。(飯島希)

パッションフルーツ挿し木・実習講習会

社会環境部会



座学での失敗しない挿し木方法



材料の確認と準備作業



6名一組で実習風景

1. 経緯

パッションフルーツの講習会は、2年ほど公民館2か所で、5月初旬に講習会に合わせて、井口氏の育てた苗の配布を行ってきました。

今年は少し早めて、4月20日に市役所で行いました。この苗は寒さに弱いので、井口氏が個人の家の中で、150株余りの苗を8月～翌年4月まで育てており、今年は60株を用意しての講習会となりました。長期間の手間がかかるため、今後の継続が困難ということになり、それなら各個人に育ててもらえばよい体験になり、普及も促進されるのではないかとということで、実現しました。

2. 参加者募集と準備

環境政策課と北公民館のご協力ですmoothに実現できました。募集は、広報8月25日号の「催し・募集」欄に掲載していただき、申し込み受け付けは、環境政策課にお願いしたところ、多くの課のみなさんに受け付けていただきました。

早々に、定員の30名をオーバーし、40名まで増やしましたが、さらに7名のキャンセル待ちの人まで受け付けることになりました。結果的には、欠席者が7名あり、参加者は40名でした。パッションフルーツへの興味の深さ、市の広報の効果に驚きました。おかげで、募集のためのチラシも作らずに済みました。

北公民館では、器具の拝借、森館長の開会挨拶等もお願いしました。

苗、用土、ポット、器具、領収書等、井口氏が万全な用意をされ、一部、苗、はさみ、ナイフ等不足分を渡辺、原嶋が準備しました。

3. 講座・挿し木実習

挿し木実習の前に、パッションフルーツの座学を、映像を基に30分ほど行いました。苗の特性、花のつき方、交配、育て方、ジャムの作り方等の基礎知識を、ていねいに説明していただきました。

実習にあたりましては、机を向かい合わせにして使い、6名単位のグループで、作業のしやすい体制にしました。1～1.5mほどの苗を1節ずつ葉の付け根に芽のあることを確認しつつ、葉の上部は1.5cmほど残し、下は7cm程で切って、水につけておき、長い方をくさび形に片方を長く切り、赤玉土を入れた6cmポットに水を切らさないようにして、挿しておく。

また、葉からの水分蒸発を制御するため葉を半分くらいに切る。そして、4～5週間後に根が生えてきたところを見計らって9号ポットに植え替え、根が落ち着いたら骨粉入り油粕などの肥料を与えながら翌年の植え替えを待つ。

今回は8月に挿し芽し、根の張ったものを人数分用意して、植え替えまでの実習も行いました。参加者は挿し芽3鉢、植え替え1鉢を持ち帰り挑戦することとしました。

受講者は、学生のように、目を輝かせ、熱心に取り組んでいました。

最後に、井口氏の作られたパッションフルーツジャムを試食されて終了となりました。

4. 感想

1) 今回の講習会は、環境政策課のみなさん、北公民館の方々の協力があり、順調に進めることができました。

2) 井口氏の準備のすばらしさに、参加者も至れり尽くせりの講習会ですねとほめていました。
 3) 机の並び替え、後片付け等、参加者が積極的に行っていただきました。
 4) 今までの苗を配付しての講習会よりも、自分で挿し木した苗を育てるのだという愛情の持ち

方も変わり、普及活動に役立つのではないかと期待できます。

5) 今後とも、井口氏のこのような尽力が続けられれば、緑のカーテンの普及に大いに役立つのではないかと期待されます。

(原嶋昇治)

環境施設視察研修会 (9月15日)

社会環境部会



写真1：赤城事業所



写真2：こもれびの森 集合写真



写真3：森の教室



写真4：散策道 (総距離約6km)



写真5：ピオトープ(ホタルの生息地)

社会環境部会が企画した今年の環境施設視察研修事業は、9月15日(金)に会員及びその家族、社員等23名(男性11名、女性12名)の参加の下に実施しました。

午前8時にウエスタ川越前を貸し切りバスで出発し、最初の見学先である前橋市粕川町のサンデンフォレスト赤城事業所に到着。ここはサンデン(株)が平成14年に自動販売機やショーケース等の生産拠点として赤城山麓に整備した工場です(写真1、写真2)。

一行を乗せたバスはまず工場敷地内の「森の教室」へ誘導され、ここでサンデンファシリテイ(株)ECOS事業部の柴崎部長から映像を交えて概要の説明をいただきました(写真3)。

全体の面積は64haあり、その半分の面積は工場全体を取り囲んだ森と建物周縁の緑地となっています。ここは工場建設前には荒地の様相を呈していたところであり、工場建設に伴って造成した森・緑地と元のままで残した森・緑地

が半々だそうです。特徴は1970年代にドイツ、スイスで誕生した「近自然工法」という自然の力に任せて生態系を再生させる方法を採用していることで、石積みは「土佐の崩れ積み」と呼ばれ、地震等の衝撃にも崩れにくい工法を採用しています。また工場の建物が森を分断しないように緑地が縦横につながって動物の通り道となっており、文字通り森と緑の中に各建物が配置されている状況です。

一通り説明を受け、工場の生産ラインを見学した後、森の散策に出かけました。山麓に整備された広い敷地のため標高差がかなりあり、あちこちに溜池や蝶等の保護施設が造営されています。森の散策道も歩きやすく造成されていますが急な坂道を谷に下り、また昇るといった有様で高齢者には難所となっています(写真4、写真5)。脚のやや不自由な女性がどうしようかと考え込んでいたようですが、せっかく来たのだからと意を決して共に行動されました。途中

の急な坂道では手を握り引き上げていただいたようで、親切な男性も居らっしゃると感謝されていました。谷の細い清流には何時のころからか蛍が生息し、6月ごろには蛍火が湧きあがるように舞っているとのこと。また谷側沿いに設置してある監視カメラにはキツネやなんと熊までも映っており、生物種は工場設置前よりも現在の方が多くなっているとのこと。

生産ラインの見学で感じたことは、自動販売機は食べ物を収容することから衛生には特に留意しているとのこと、組み立てロボットは見受けられず自販機を全てヒトの手で組み立てているのは意外でした。型によっては1日に5台の組み立てが限界だそうです。また見学者が組み立て作業の場所まで入り込んで組み立てられるのを目の当たりにするのも珍しく感じます。工場見学と言えば作業風景を窓越しに見るとか、上のフロアから下のフロアを遠望するのが通例で、見学中に半製品を乗せた台車が来て「ちょっと通してください。」と言われたのにはびっくりしました。

このように、ここでは工場見学や自然体験活動プログラムを各種揃えて自主活動のフィールドとして、企業の環境保全活動に関する研修の場としても提供しているようで、地域とのつながりを大事にしているのだなと強く感じました。

約2時間の見学を終え、同じ前橋市柏倉町のぐんまフラワーパークを訪問しました。ここは25年前に群馬県が赤城山麓に整備した花を中心にした植物園です。一行は、まず園内のレストラン等で適宜昼食を済ませ、各自季節の花を楽しみに出かけました。

春に比べると花は全体としてやや地味な感じがしますが、5棟の温室には大きく育ったサボテンや熱帯性の珍しいたくさんの食物が育成されており、目を楽しませてくれます。また子供広場やイングリッシュガーデン、花と緑の学習館、農産物直売所等もあって、来園者それぞれに楽しめる施設が整備されています。川越にもこんなものがあるといいですね。

ここでは約2時間の思い思いの時間を過ごし、3時に帰路につきました。当日は天候に恵まれて1日中爽やかな日和でした。また参加のみなさんには決められた時間に従って行動していただき、予定どおり夕方5時に川越に到着することができました。皆様のご協力に心からお礼申し上げます。今回すばらしい工場の有様を見学することをメインに企画しましたが、事業者会員関係者の参加が見受けられなかったのは少し残念に思います。企画側のPR不足もあったかも知れません。今後の反省点とします。

(社会環境部会代表 板野徹)

【報告】会員・流域の活動

全国水生生物調査結果報告

南小畔親水クラブ



南小畔川・河南橋下 魚・昆虫捕獲

過去、数年間4か所で測定してきましたが、今年は天候不順で、下記2か所に限定して調査しました。両日も曇り日でしたが、水流は、ほぼ例年通りでした。

両日も曇りで、雨の心配をしますが、午前中に実施したので、幸い降雨に遭わずに調査を実施できました。両河川とも、例年見られたヒラタドROMシ等が見られなくなり、全体に川虫が少なくなった気がしました。魚類としては、以前は見られなかった、コクチバス、カワムツ

等が増え、魚類も変化してきているようです。

なさもあるようです。

南小畔川

調査日：7月29日（土）9:30-11:30

天気：曇り

調査箇所：南小畔川 親水公園

参加者：11名

この場所は、埼玉県の水辺100選で選ばれて工事した個所で調査、遊び等に適した場所です。

我々のメンバーと近所の親子連れが加わり、楽しく調査できました。南小畔川の源流は、数10km西の飯能市の丘陵地帯で、日高市の支流が合流した小河川で、水は比較的きれいです。しかし、魚類、川虫等が少なくなっているように思われます。ただし、我々の捕捉技術のつた

入間川・安比奈親水公園

調査日：8月19日（土）9:30-11:30

天気：曇り

調査箇所：入間川 安比奈親水公園 支流

参加者：16名

この小川の水源は、狭山市の智光山公園あたりの湧水で、ここの親水公園で入間川に合流しています。

参加者は、川越市立霞ヶ関西小学校の生徒と父兄で、川幅、流速等の測定を始め、捕獲した魚も、県からいただいた下敷きの写真と比べて、調査しました。魚は初めて見る子供もおり、楽しく観察しました。（原嶋昇治）



取れた魚の調査



安比奈親水公園 流速調査



たくさんとれたね

昭和の街の感謝祭・アースデーでの「ツアー&アンケート」

東洋大学小瀬研究室



案内のパネル（9月9日）



9月9日の調査（原弘様撮影）



9月9日の調査（芋皮むき器）



10月1日のアンケート



10月1日の調査



10月1日の調査

東洋大学地域活性化研究所の研究計画の一環で、9月9日の「昭和の街の感謝祭」、10月1

日の「2017アースデー・イン・川越 昭和の街」において、昭和の街の昭和らしさと魅力を発見

する「ツアー&アンケート」を実施しました。

「昭和の街」の名称が連雀町～仲町間の中央通りに名付けられたのは2014年のこと。3年で認知度が上がり、店舗も増えて、魅力的な界限に足を止める人も増えたように思います。2日

間の参加人数はツアーが延べ61人、アンケートが166名と大盛況でした。調査にご協力いただきまことにありがとうございました。結果は、大学の活動報告等でお伝えします。(小瀬博之)

森林整備施業 (9月10日・10月8日) 東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊



恒例の集合写真 (9月10日)



アカメガシワの伐採 (9月10日)



伐採した木の片付け (9月10日)



鮮やかなタマゴタケは可食(10月8日)



林床の様子 (10月8日)



下刈りの様子 (10月8日)

毎月1回程度のペースで実施している東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊の活動報告です。

9月9日(日) 8:30-16:00

11名の参加での森林整備施業でした。

こもれびの道の南側のエリアで、しばらく施業していないところを中心に、成長阻害木の伐採や下刈りを行いました。

森林整備施業初参加のご夫妻には、高さ10m以上、直径20cmほどのアカメガシワの伐採を実施してもらいました。

これだけの大きさの木を切るということは、なかなか体験できないことです。伐採に適した木が以前と比べると少ない状況ですが、初参加の方にはこういう生の体験を通して、森の変化を体感してもらいたいと考えております。

10月8日(日) 8:30-16:00

11名の参加での森林整備施業でした。

こもれびの道の北側のエリアで、下刈りを中心に行いました。しばらく下刈りをしていないと、以前伐採した木からひこばえが生えてきます。特にシラカシ、ヒサカキ、イヌツゲ、シュロなどが多く見られましたので、剪定鋏や手鋸、下刈鎌を使って、これらをていねいに下刈りしました。

エリアの入口には、8月末以来のタマゴタケが発見されました。また、チャノキやコウヤボウキの花、ジャノヒゲの若い実が見られました。クリのイガがたくさん落ちていて、コナラのどんぐりが空からときどき降ってきました。昨年はどんぐりがまったくありませんでしたが、今年はたくさんなっています。(小瀬博之)

第4回川の景観づくり講演会（9月2日）



豊富な資料で講演する深堀さん



パネル討論で語る溝尾さん



草で降りられない旭橋船着き場

平成20年から、埼玉県が県土づくりの一環として新河岸川広域景観プロジェクト事業を始めて10年、現在は新河岸川広域景観づくり連絡会として活動していますが、その連絡会主催の「第4回川の景観づくり講演会」が、9月2日、ウエスタ川越で開かれました。

講師は、平成22年3月に志木市で行われたプロジェクト事業のまとめの講演をした、埼玉大学大学院環境工学科の深堀清隆准教授にお願いしました。現在、埼玉県の環境審議会委員で環境アドバイザーとしても活躍されています。

豊富な写真を組み込んだ16ページに及ぶレジュメをもとに、全国の河川環境から県内の見沼地域の水環境の再生の姿が報告されました。

第一に、場所を横断的に見て環境をつなぐ視点は、水辺の環境と移行帯（エコトーン）、特に斜面林や堤内地とのつながりを考えることに、目を開かれました。身近な新河岸川の堤防の散策も、この視点での啓発が求められましょう。

第二に、市民との協働の「拠り所」「シンボル」となるものを見出す、地域を象徴するコウノトリやトキなどの生物、あるいは地域の景観構造、新河岸川なら昔の舟運の復活などが話題になりました。

第三には、景観マネジメントの持続可能性を強調されました。岩手県一関の久保川イーハトーブ自然再生事業や、見沼代用水の地形を生かした景観づくりの例が報告されました。「市民が選んださいたま百景」に、見沼田んぼ地域が20景も選ばれていますが、市民活動の成果でした。

まとめとして堤防というバリアを乗り越え「居場所のつながり」、人と生物が共存する「地

域ブランド」、地域の景観構造と「相思相応市民活動」でつながりを広げることが強調されました。豊富な事例の紹介で予定時間を超えて2時間近くに及び、参加者の感銘のうちに前半の講演を終わりました。

休憩後、深堀講師を囲み、川越の溝尾良隆さん、ふじみ野市の川口勝弘さんらが、それぞれの活動体験を語り、参加者との質疑応答が続き、会場使用時間ぎりぎりまで盛り上がりました。

川越の溝尾さんは、平成21年3月のオープニング大会で、新河岸川広域景観づくりの基調講演をされた観光学の権威で、川越市第四次総合計画審議会長もされました。現在は大学の名誉教授の傍ら、地域で活動されている経験を話され、市民を巻き込む情熱を語られました。ふじみ野市の川口さんは、「水辺再生100選事業」の後に、市民と行政の協働で「管理維持体制」を作った貴重な体験を披露しました。河畔林の手入れ、側道の維持、湧水を生かした生物の観察など、ボランティアのリーダーとしての活動が語られました。

会場の参加者との質疑では、ボランティア活動の参加者をどうしたら増やせるかなど、切実な悩みが出されました。ふじみ野市では、春と秋の新河岸川一斉清掃活動は、小中学生や大学生、自治会、地元企業の参加を得て、活動後の芋煮会も評判を呼び、一大事業になった経過を報告、行政と市民の連携の大切さを教えられました。さらに新河岸川舟運の復活、災害時の道路渋滞を避けての河川の利用、堤防の草刈り回数増などの要望が出されました。（武田侃蔵）

山田のかかし祭り (9月3日)

かわごえ里山イニシアチブ



会場入口の山田中製作の看板かかし



地域一丸となって祭りを盛り上げます



なかなかの力作が揃いました

9月3日(日)、地域の一大イベントである「山田のかかし祭り」に参加しました。山田のかかし祭りは21年間続いた地域の伝統のある行事で、小学校や中学校のクラス単位での参加、地域の諸団体が参加してかかしを作り、城西川越高校前のフェンスに並べるといふものです。

このイベント参加は、かわごえ里山にとっては画期的なものでした。我々の活動は地域あつての活動です。そして、お米作りは人と人、人と生きものをつながりて成り立つ日本の伝統ある文化です。このイベントを通して地域との“つながり”を作る地域デビューの第一歩となりま

した。

また、イベントを通じて地域パワーというか人のつながりの結束を目のあたりにして驚かされました。かかし設置の日には、地域の農家の方々が総出で軽トラックを出して、かかしの回収や設置に飛び回ります。何十人も参加するので、瞬く間に終わります。イベント当日も同じでした。かわごえ里山イニシアチブも、これから、ますます地域に溶け込んで地に足を付けた活動で環境豊かな生きもの育む里づくりにまい進していきます。

(増田純一)

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

9月20日(水)9:00-10:00に事業運営委員会、10:00-12:30に理事会が福田ビル3階会議室において行われました。審議事項が重複していますのでまとめてお伝えします。主な議事は次の通りです。

①9月9日(土)に川越青年会議所主催で開催された「自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園」における本会の実施事業について、担当の飯島理事から報告がありました。詳しくは本号4ページに掲載されています。

②2月25日(日)に開催される第16回かわごえ環境フォーラムの講演会講師候補者を決定しました。講演や続いて実施される「かわごえカフェ2018」のテーマを「(仮題)コミュニティから見る緑のあり方」を軸に進めることにしました。

③10月14・15日の「川越まつり会場クリーン

活動」を菊地理事が中心となって実施することを確認しました。

④11月25日に開催される環境講演会の広報活動や準備物、必要経費等の再検討を行い、承認されました。

⑤「アースデイ・イン・川越 昭和の街」について、実行委員会より正式に後援申請があったため、これを承認したとの報告がありました。また、「北公民館かんきょう祭り」について、後援申請が見込まれるため、今後申請があれば、承認することとしました。

⑥きのこの冊子作成に係る公益財団法人サイサン環境保全基金への助成金申請について、審査を通過したとの報告がありました。

⑦川越市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改訂に際して、計画の推進体制における地球温暖化対策地域協議会に本会を位置づけること

について了承しました。

(小瀬博之)

社会環境部会

9月例会は9月8日(金) 福田ビル3階会議室において7名の出席のもとに開催されました。

1. 今後の行事予定について

(1) パッションフルーツ挿し木・育苗講習会

9月9日(土) 13:30から北公民館を会場として井口会員の指導で実施します。30名を予定していましたが47名の応募があり、井口さんの尽力により、みなさまの希望に応じて、必要分を確保して実施することとしました。今後、公民館活動との積極的提携について考え方を整理したいと思います

(2) 環境施設見学バスツアー

9月15日(金) 群馬県下のサンデンフォレスト、ぐんまフラワーパークを見学します。9月8日現在23名の応募があり、あと5席分の応募を待っている状態です。

(3) 環境講演会について

11月25日(土) 川越市南公民館を会場として実施します。なお、資金面等について今後理事会での判断を仰ぎながら具体化して行きます。

(4) エコドライブ講習会について

市と協働で11月11日(土) ウェスタ川越、11月19日(日) つばさ館をそれぞれ会場として実施します。

2. その他

市から「かしこい暑さ対策自慢」の投稿について協力依頼がありました。1つぐらい自慢できることをやりたいのですが・・・。

10月例会の進行は渡辺さん、広報原稿(私のエコ体験)は松岡さんをお願いします。

なお多勢の方の部会参加、コラム投稿をお待ちしています。(社会環境部会代表 板野徹)

自然環境部会

9月例会は8日(金) 福田ビル3階にて8名の参加で開催された

1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動
7/24(月) 17名参加、希少種を残す選択的草刈り作業

②エコプロダクツ川越 7/23(日) 9名参加、ペットボトルロケット、アクリルたわし、間伐材の箸づくりなど

③「虫の観察会」7/30(日) 市の生き物調査会と共催。参加者30名ほど、9月号で報告済み

④池辺公園 定例活動 8/1(火) 5名参加
キツネノカミソリ開花状況調査、9/5(火) 7名参加
県民参加モニタリング調査連動外来種調査

⑤甲虫調査 水上公園 8/5(土) 9時~12時、8名参加 講師は新井浩二氏

⑥キノコ編集会議 8/25(金) 8名参加

2. 協議事項

①10月行事の役割分担など 特に10/8の伊佐沼イベントは植物、虫類、野鳥と広範に観察するので講師・担当者について協議、できるだけ会員でカバーすることに。

②県民参加モニタリング調査の進捗状況 メンバーの精力的な活動でほぼ必要条件はクリアできた。

③公有地における希少種保全について この夏、川越館跡土塁に自生するキツネノカミソリ(準絶滅危惧種)が草刈りで刈られてしまうことがあった。希少種の情報を担当部署で共有する方法など協議した

④コラム「川越の自然を訪ねて」原稿確認など
(自然環境部会代表 賀登環)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事

【再掲・トピック①】「川越まつり会場クリーン活動」参加者募集（10月14・15日）

*本紙表紙にちらしの画像があります。

第2回川越まつり会場クリーン活動の季節になりました。

川越まつりは、江戸「天下祭」を今に再現した山車行事。精巧な人形を乗せた絢爛豪華な山車が、小江戸川越の象徴である蔵造りの町並みを中心に、町中を曳行（えいこう）されます。何台もの山車が辻で相対し、すれ違うさまは、そのスケールの大きさに、見物客を圧倒します。

昨年は観光客数 98 万 5 千人、そしてユネスコ無形文化遺産にも登録（2016年12月）されたこともあり、今年は 21 台の山車が参加し、観光客は昨年を超えると予想されます。

会場クリーン活動の目的は、多くの観光客に気持ちよくお祭りを楽しんでいただくために行うものです。

赤いハッピーを着て会場クリーン活動に参加しませんか！ 昨年は 80 名の方々が参加、今年は何人かなー！

かわごえ環境ネット会員の有無は問いません。よろしくお願ひします。

■川越まつり会場クリーン活動の概要

開催日：10月14日（土）・15日（日）

集合場所：川越市中原町 1-2-11 東側地先
かわごえ環境ネット テント

活動時間：11:00-21:00（2時間単位）

活動場所：川越まつり会場と周辺（時間帯により活動場所が変わります）

申込先： 渡辺 電話・Fax. 049-242-4322

菊地 携帯 080-5546-2362

kikum.autumn@gmail.com

その他：活動用の赤いハッピーとクリーン活動用の道具を用意しております（貸し出します）。

（下線部は9月号から修正、菊地三生）



昨年の屋間の活動の様子

【トピック②】映画「日本と再生」上演と「自然エネルギー100%の社会を目指して」講演会（11月25日）

地球温暖化を抑え、持続可能な社会を実現するには、単に化石燃料から自然エネルギーに転換することに留まらず、脱炭素社会をめざしてエネルギーと社会のあり方を変えていく必要があります。この動きはドイツ、デンマーク等の欧州ではかなり進んでおり、100%エネルギー自給自足の市町村も増え続けています。また、日本でも2014年2月に「市民電力連絡会」が発足し、全国で130以上の、首都圏でも60以上の市民電力が立ち上がっています（埼玉県では7か所）。

今年度の環境講演会では、映画と講演会を組み合わせた「映画と講演会の集い」を企画しました。

映画「日本と再生」は、弁護士の河合弘之氏と NPO 法人環境エネルギー政策研究所長の飯田哲也氏が世界を駆け巡って、自然エネルギー設備や要人との面談内容を収録したものや、日本の自然エネルギーの普及状況等が紹介されています。本映画は、既に全国数十か所で上映会が行われ、大変評価の高い作品です。

さらに、講演会では、NPO 法人環境エネルギー

一政策研究所研究員の古屋将太氏による「自然エネルギー100%の社会を目指して」と題する講演をお願いしており、参加者には世界のそして日本の自然エネルギーのすべてがわかるものと確信しています。

なお、映画「日本と再生」は、ネットで「日本と再生」HP（河合弘之監督映画サイト）を開くと予告編が見ることができます。

11月25日（土）13時30分からの「映画と講演会の集い」への参加をお待ちしています。

会場：川越市南公民館（ウエスタ川越1階）講座室1号

<第1部：映画上映と講演会>

日時：11月25日（土）13:30-16:45

映画「日本と再生」上映 13:30-14:45 講演会

15:00-16:45（講義75分、質疑応答30分）

演題「自然エネルギー100%の社会を目指して」

講師 NPO 法人環境エネルギー政策研究所

研究員 古屋将太氏

講演内容

- ・世界の自然エネルギー普及状況
- ・エネルギーの地産地消・自給自足の可能性について
- ・日本の「市民電力」・「地域（自治体）電力」の実態、将来方向
- ・川越市への「エネルギー地産地消」に向けた提言

参加費：500円

<第2部：映画上映>（第1部の映画上演や講演会に参加できない方に）

日時：11月25日（土）17:00-18:15

映画「日本と再生」上映

参加費：500円

参加申込先 川越市環境部環境政策課（電話 049-224-5866、Fax.049-225-9800、メール kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）

第1部・第2部の別、お名前、お電話、ご住所を電話・Fax・メールのいずれかでお知らせください。

申込開始日 10月10日（火）9:00より

環境講演会
映画と講演会の集い

エネルギー革命はもう始まっています。欧州各国では自然エネルギーの割合が20%を超え、デンマークでは「自然エネルギー100%」の国家を目指すと言っています。世界規模で自然エネルギーの普及が急速な勢いで広がっています。自然エネルギー100%をめざす取組について考えましょう。

日時 2017年11月25日（土）13時30分～
会場 南公民館（ウエスタ川越1階）講座室1号

第一部 映画上映と講演会 参加費500円
映画「日本と再生」 13:30～14:45
講演会 15:00～16:45（講義75分、質疑応答30分）
演題「自然エネルギー100%の社会を目指して」
講師 NPO法人環境エネルギー政策研究所
研究員 古屋 将太 氏

講演内容
・世界の自然エネルギー普及状況
・エネルギーの地産地消・自給自足の可能性について
・日本の「市民電力」・「地域（自治体）電力」の実態、将来方向
・川越市への「エネルギー地産地消」に向けた提言

第二部 映画上映（第一部の映画上映や講演会に参加出来ない方に）
映画「日本と再生」 17:00～18:15 参加費500円

主催 かわごえ環境ネットメール kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
参加申込先 川越市環境部環境政策課 電話 049-224-5866
申込開始日 10月10日（火）9時より

ちらし（かわごえ環境ネットホームページからダウンロードできます）



<http://kawagoekankyo.net/news/003058.html>

【再掲・トピック③】「第16回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告投稿・発表者募集

本年度のかわごえ環境フォーラムは、2018年2月25日（日曜日）9:30-17:00にウエスタ川越（市民活動・生涯学習施設 活動室1・2）を会場として環境活動報告会と講演会並びに対話の場「かわごえカフェ2018」を開催します。

この行事は、各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいつそう活発になることを期待して毎年開催しているものです。

今回も、行事開催に先立ち、環境活動をされ

ている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。かわごえ環境ネット会員の有無を問いません。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。

投稿・発表申込期限は 11月20日(月)、レポート投稿期限は12月18日(月)です。

募集要項は、会員のみなさまには9月号に同

封しています。それ以外の方は、かわごえ環境フォーラムホームページ (<http://forum.kawagoekankyo.net>) に掲載していますのでご覧ください。



<http://forum.kawagoekankyo.net>

【再掲・トピック④】「第16回かわごえ環境フォーラム」協賛並びに広告掲載のお願い

上記トピック③でも書かれている通り、本会や会員の本年度の環境活動報告をまとめた「かわごえ環境活動報告集」を「第16回かわごえ環境フォーラム」開催に合わせて発行します。

本報告は、費用の一部を本会会員の協賛金でまかなっております。かわごえ環境フォーラムの運営にあたって協賛をお願いするとともに、下記要領で環境活動報告集に協賛広告を掲載い

たしますので、ご応募をぜひお願いいたします。

本会会員事業者には、9月の郵送資料においてご案内をお送りしております。会員外の事業者等からも協賛を募集します。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局（川越市環境部環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-5866、E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）までお問い合わせください。

会合

●社会環境部会（2017年10月度）

日時：10月13日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）

*次回は11月10日（金）13:00-15:00 同所

●自然環境部会（2017年10月度）

日時：10月13日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室

*次回は11月10日（金）15:00-17:00 同所

*両部会とも、会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2017年度第6回）

日時：10月20日（金）9:00-10:00

場所：福田ビル3階会議室

*次回は11月22日（水）13:30-15:00 修養室

◆理事会（2017年度第7回）

日時：10月20日（金）10:00-12:00

場所：福田ビル3階会議室

*次回は11月22日（水）15:00-16:30 修養室

◆広報委員会（2017年11月度）

日時：11月8日（水）9:00-10:00

場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース（川越市元町1-3-1）

*次回は12月6日（水）9:00-10:00 同所

自然環境部会主催事業

<定例活動>

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第2・第4月曜日）

日時：10月23日、11月13・27日（月）

9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今

福1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動

日時：11月7日・12月5日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺1302）

問い合わせ：菅野

★「那須平成の森を訪ねて」自然観察研修会 場所：大堀山館跡
日時：10月18日（水）問い合わせ：賀登 問い合わせ：賀登

★県民参加モニタリング調査
日時：10月27日（金）10:00 現地集合

【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

ホームページ <http://blog.canpan.info/forest-musashi/>

◎森林公園かんさつ会（考える会主催） ①10月22日（日）10:20-15:00 ごろ
集合・時間：10:20 国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所（入園前受付）、参加費 200 円、入園料別途、 ②10月31日（火）10:20-15:00 ごろ
観察用具（双眼鏡など）、昼食持参（園内レストランもあります）、雨天決行（雨具持参） （①②共通）森林公園でセンブリの花や野鳥との出会いを楽しみましょう。アカネ（トンボ）も産卵に訪れているのでしょうか。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験（年間）

日時： 10月14日（土）9:30-12:30 ごろ
11月11日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円

2017 年度予定表

月	日	活動内容予定
10	14	大根畑の片付け他
11	11	里芋の収穫、片付け
12	9	ブロッコリーの片付け
1	13	雑木林の手入れ、くず掃き
2	10	雑木林の手入れ、くず掃き

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 事務局：佐藤（Tel.049-234-8500 [9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: info@minamikaze.or.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪

田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（金曜日の 10:00-12:00）

期日：10月13・20・27日（金）

場所：地域交流センターに集合、農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会（同日 9:00-11:00 の作業終了後）

日時：10月13日（金）10:00-12:00

場所：地域交流センター多目的ホール

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623）

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬によるお米作りや生きものの賑わい

を取り戻す活動を行っています。入会は随時受け付けています。

◎収穫祭（会員イベントですが当日入会で参加いただけます、10月12日までに予約を）

日時：10月14日（土）10:00-15:00

場所：北部地域ふれあいセンター（川越市山田1578-1）

参加費：大人（中学生以上）800円、小学生以下無料

持ちもの：エプロン、その他、ご自身でシェアしたいおいしいものやお知らせチラシなどご自

由に

内容：新米ご飯・マコモダケなどの調理・食事、活動報告、ライブ、お米配布・注文受付など

◎NPO 設立総会

日時：10月28日（土）13:30-16:00

場所：北部地域ふれあいセンター

かわごえ里山イニシアチブは NPO 設立総会を開催し、今年度中に NPO 法人化をめざします。

東洋大学小瀬研究室（東洋大学川越キャンパス こもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 <http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>

◎「第8回こもれび祭」里山体験と木工教室

11月4日（土）10:00-17:00

11月5日（日）10:00-16:00

場所：東洋大学川越キャンパス7号館「物創り工房」

内容：森をめぐるツアー（樹名板取り付け）をはじめ、木工教室としてはこもれびの森の資源を使った名札やバードコールづくり、体験展示として薪割り体験やかんながけ体験、体験をしてくれた人への薪やかんなぐずのおみやげなどがあり、子どもから大人まで楽しんでいただけます。予約不要、入退場自由ですが、数に限りがありますので早めにお越しください。

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

12月10日（日）8:30 集合-16:00 解散（荒天中止）

集合場所：東洋大学川越キャンパス4号館こも

れびの道側入口（川越市鯨井2100）

費用：無料

内容：手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の伐採、下刈りなど。

持ち物：汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）、靴、手袋（軍手等）、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます）、タオル、飲み物、弁当・飲み物など、あれば自前の道具（手鋸、剪定バサミ）
申込・問い合わせ：準備の都合上、開催日前の木曜日までにご連絡ください。

*開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊（<http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>）

*中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知（<https://twitter.com/toyokomorebi/>）

*報告 Facebook（<https://www.facebook.com/komorebisatoyama/>）

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃藏（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：10月20日（金）・11月7日（火）・17日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所

まで。

②第2日曜日

日時：11月12日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第4土曜日

日時：10月28日・11月25日（土）13:30-15:

00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日 9:00 より 2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(Tel.090-2521-5770)へご連絡ください。

①10月22日(日) 9:00-11:00

高沢橋下の右岸より石段下集合。高沢橋から

氷川橋まで。北公民館で分別して解散。

②11月26日(日) 9:00-11:00

新河岸川広域景観づくり連絡会の「秋の流域一斉清掃」に協力。宮下橋から下流の養老橋まで。5か所に分かれて活動。多数の参加をお願いします。11月15日に地区リーダーら関係者と連絡調整の予定。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

◎小畔川魚類調査

日時：10月22日(日) 10:00-12:00

場所：小畔川八幡橋下流

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、小雨決行)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般 300円、高校生以下 100円 (保険代・資料代)

解散：集合場所にて 12:00 ごろ

11月12日(日) 10:00-12:00

沼にコガモ、オナガガモ、ハシビロガモが。公園にジョウビタキ、ツグミなどがやってきました。みんなで探しましょう。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2017年11月号(No.133, 11月上旬発行予定)の掲載原稿は、10月15日(日)締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局にお問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出してください。

●会員募集

かわごえ環境ネット会員になれば、毎月本紙を郵送でお届けするとともに、関連するチラシなども同封します。専門委員会の活動にも参加

でき、さまざまな人的な交流や情報交流ができます。

個人会員は1,000円、5名以上の団体会員は2,000円で会員になれます。入会についての詳細は、かわごえ環境ネットホームページをご覧ください。ただか、事務局にお問い合わせください。



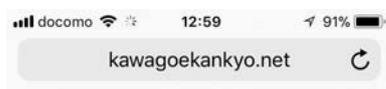
<http://kawagoekankyo.net/news/admission.html>

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

残念ながら会員に送付及び公民館等で配布している紙版は、モノクロの孔版印刷のために画像がつぶれてしまい、判別がつきにくい状況で

す。本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。鮮明な画像でぜひお楽しみください。スマートフォンにも最適化されています。



映画「日本と再生」上演と



<http://kawagoekankyo.net>

2. Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

本会 Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。



<https://twitter.com/kawagoekankyo>

3. Facebook ページ「いいね！」してください

本会は、Facebook でも積極的に情報発信して

います。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。本紙で掲載されない速報もあります。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね！」してください。



ページ アクティビティ インサイト



かわごえ環境ネット
@kawagoekankyonet

登録する



地域団体・埼玉県 川越市



<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>



QR ホームページ Twitter Facebook ページ

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (10月11日~12月2日)

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください			10/11	10/12	10/13 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ◎10:00 例会 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	10/14 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験 ◎10:00 収穫祭 (かわごえ里山) ★11:00-21:00 川越まつり会場 クリーン活動
10/15 ★11:00-21:00 川越まつり会場 クリーン活動 ○本紙 10月 号投稿期限	10/16	10/17	10/18 ★7:15 自然観 察研修会	10/19	10/20 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ◆9:00 事業運 営委員会 ◆10:00 理事会 ◎13:30 まち 美化啓発運動	10/21
10/22 ◎9:00 新河岸川 市内流域清掃 ◎10:00 小畔 川魚類調査 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	10/23 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全活動	10/24	10/25	10/26	10/27 ★10:00 県民 参加モニタリ ング調査 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	10/28 ◎13:30NPO 設立総会 (か わごえ里山) ◎13:30 まち 美化啓発活動
10/29	10/30	10/31 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	11/1	11/2	11/3 文化の日	11/4 ◎10:00 東洋大 学こもれび祭
11/5 ◎10:00 東洋大 学こもれび祭	11/6	11/7 ★9:00 池辺公 園定例活動 ◎13:30 まち 美化啓発運動	11/8 ◆9:00 広報委 員会	11/9	11/10 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	11/11 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験 ◎北公民館か んきょう祭り ★エコドライ ブ教習会
11/12 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00伊佐召び ードウォッチング	11/13 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全活動	11/14	11/15 ○本紙 12月 号投稿期限	11/16	11/17 ◎13:30 まち 美化啓発運動	11/18
11/19 ★エコドライ ブ教習会	11/20 ○かわごえ環 投活動報告集 投稿・発表申 込期限	11/21	11/22 ◆9:00 事業運 営委員会 ◆10:00 理事会	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25 ◎13:30 まち 美化啓発活動 ★13:30,17:00 環境講演会
11/26 ◎9:00 新河岸川 市内流域清掃	11/27 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全活動	11/28	11/29	11/30	12/1	12/2

月刊 かわごえ環境ネット 2017年10月号 No.132

発行日 2017年10月10日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax.049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>